

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第2回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」（公開）

3 開催日時

令和5年6月21日（水） 午後6時30分から午後7時13分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：有坂正一（会長）、宮崎雅彦（副会長）、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、高橋武弘、山岸優子、横田英昭（欠席6人）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

8 発言の内容

【石黒係長】

- ・植木委員、片田委員、金子委員、佐藤 力委員、清水委員、平原委員を除く8人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【有坂会長】

- ・会議録の確認：山岸委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認

- ・次第に基づき、議題の確認

【有坂会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」 —

【有坂会長】

次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」に入る。

事務局より説明を求める。

【石黒係長】

前回4月の協議会で自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」について、釜蓋遺跡を事業で応援する方向で審議を進めることが決定されたところである。まずは、同遺跡を拠点に活動する「吹上・釜蓋遺跡応援団」の意向を確認し、地域独自の予算事業の活用や市への意見書の提出といった今後の方策を検討したいということから、事務局に対し応援団との意見交換に向け日程調整の依頼があり、市の窓口課である文化行政課に相談した。同課からは、応援団の現状について、コロナ禍による活動停滞から復活に向け始動したばかりで、新たな取り組み等を受け入れられる状況にない。意見交換の実施は時期尚早と助言があった次第である。これを踏まえ、5月24日、正副会長と事務局で協議した結果、応援団との意見交換の実施は困難と判断し、応援団の活動を支援する形での事業の予算化等は見送ることとした。応援団の活動をベースに審議を進めることが叶わなくなったことから、代案を検討いただくための参考として、令和4年7月18日に行った応援団との意見交換会での意見をまとめたものを本日配布した。

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【草間委員】

吹上・釜蓋遺跡応援団との話し合いはないということだが、吹上・釜蓋遺跡応援

団の去年や今年の活動状況をわかっている範囲でよいが教えてほしい。

【宮崎副会長】

応援団の会員になったので、6月10日の総会に参加した。その中では、釜蓋遺跡の見学者にボランティアで説明を予定している。菜の花も植えて新聞にも見事と掲載された。今度、つくし工房のグループでひまわりを植える。県道沿いのほうに、今ひまわりが少し植わっている。そのような活動や11月には祭りを予定していると聞いた。全く活動していないわけではないと思う。

【有坂会長】

他に質疑を求める。

【宮崎副会長】

地域の人達と話し合いを全然していないので、地域の人たちの意見を聞くことも大事かと思う。例えば、駅前というと、大和5、6丁目とか、大和2丁目だが、その地域の人たちはどのように考えているか聞くのもよいと思う。町内会長の意見もあるが、町内会長までとなると忙しくて大変だと思う。地域協議会の委員だけで話し合っても全然まとまらないので、地域に住んでいる人がどう考えているのかを聞くのも一つかと思う。協議会の場でどうしようかと悩んでいるよりは、地域に出ていろいろな話を聞くのがよいのではないかな。皆さんの考えを聞いて決めればよいと思う。

【有坂会長】

今、宮崎副会長が言われたように、上越妙高駅の周辺を中心とした活動を一番に考えてきた中で、釜蓋遺跡に関しては今のところ方針が定まらなくなってきたので、我々が和田区の問題点を歩いて探してみるのも一つの方法ではないかと思う。この地域全部を見ることは難しいかもしれないが、半日なり時間を作ってそのようなやり方もあるのではないかな。そこから方策を見つけることもできるのではないかな。

【佐藤勝雄委員】

前にも意見があったと思うが、上越妙高駅から釜蓋遺跡ガイダンスを見ても、展示があることがわかりにくいということで、案内看板や表示看板をもう少し増やした方がよいのではないかな。上越大通りからも案内看板を設置して、PRにもう少し

力を入れた方がよいと思う。

さらに、教育委員会が周辺の保育園や小中学校、妙高市も含めて遺跡の見学に訪れるように取り組んでいただければよいのではないか。

【有坂会長】

案内表示は前から言われていることで、それを我々の最終的な結論として挙げることも必要かもしれない。

【横田委員】

今話を聞いていて思ったことだが、地域協議会が釜蓋応援団に業務を丸投げするかのように受ける側は感じてしまうのではないかと感じていた。もっと自由に発想してよいのではないか。

先月、見附市にあるイングリッシュガーデンを個人的に見に行ってきたが、市が運営しているもので面積的に釜蓋遺跡程度だと思う。その隣にフラワーセンターが併設されている。例えば、釜蓋遺跡も区画を作って、花の好きな人に開放するなど、地域の皆さんに開放して作ってもらえばよい。花でなくても、今の時期だとナスやピーマンを植えたりしてもよいと思う。そのような開放の仕方があっても、景観を作っていくという意味では有効かと思っている。「このようなやり方はできないかね」程度で、釜蓋応援団と協議はできないものかと思いながら話を聞いていた。

【有坂会長】

花壇を区割りして、地域の人に使ってもらおうというような考え方だと思う。確かに深く掘らずに、表面だけなら可能である。地表の利用はできるはずである。ただし、遺跡の掘削が始まると使えなくなる。

【宮崎副会長】

県道沿いは釜蓋応援団が植栽しているのでそこは掘削をしないと思う。

【有坂会長】

出ないという判断をしたところであれば問題ない。

【宮崎副会長】

この限られた人でやろうとするから行き詰る。好きな人は沢山いるので、それもよい案だと思う。

【有坂会長】

そのようなものを意見として挙げるのも一つの方法かもしれない。遺跡全面ではなくて、全体の4分の1とか5分の1程度の面積について、さらに区切って地域の人に花を植えたりしてもらおう。畑はそぐわないような気もする。畑自体がそのような趣旨に合うかどうかとも問題である。ただし、花の場合、ある程度、統一のとれたものを考えないといけないかもしれない。

【草間委員】

自分は稲荷、吹上遺跡の方に住んでおり、自身は手を引いているが地元の活動で水仙を植えている。1回目の草刈を6月の初めに行うが、水仙だとそれまでに花が終わるので刈ってもよいということで都合がよい。今回、市の方で土を入れてくれるという話があり、少しの面積だが、これから増やしていきたいという状況である。機械の使用や球根を買うことについては、行政の方で手伝うか多少援助してもよいという話があった一方、人力に関しては全てボランティアでお金は何も出ない。そのような状況を参考にしてもよいかと思う。

【有坂会長】

吹上遺跡はまたそのように再現するということか。花を植えると除草しなくてはならなくなるので大体、草との戦いになる。マルチだか防草シートを敷いて、穴を開けて球根を植えるのをテレビで見たことがあるが、そのようなことは可能なのか。

【草間委員】

ヒマワリとコスモスも一部そのように行ったことはある。マルチを敷いたのは20mくらいである。全て敷くとなると相当な労働力が必要となり困難である。そこで水仙がよい。雑草が枯れているうちに芽が出て、花が咲き、草刈りが始まる前に花が終わる上に、自分でどんどん増える。植えっ放しで済む。あまり手間をかけないようにしている。

【山岸委員】

地域の問題点を歩いて探すという話があったが、6月3日に和田地区の健康ウォークに参加した。新幹線の高架の下辺りに萱が生い茂っており、何か獣が出てきそうであった。大貫であった殺人事件の犯人もこの辺に隠れられそうで不安を感じた。

あのような状態は、どうしたらよいのかわからないが、どこかに話をして、歩道のところだけでも整備することはできないものかと思った。地域を回って問題点を探すのもよいのではないか。

【有坂会長】

あの周りはまだ田んぼが少し残っている。田んぼをやっている人はよいが、田んぼがありながら、何もやっていない人が結構いて、その人たちが自分の田んぼをそのまま荒らしている。そのために草だらけになっている所もある。地域協議会としてそのような所の除草を市にお願いするような意見を出す方法も考えられるのではないか。私もあの辺をよく通るので気にはしているが、最近は草刈をする人も大分増えてきた。若干減ったが、まだかなりのところが萱場になっており、そのような場所は、ゴミのポイ捨ても絶えない。できるだけ草むらを減らしていくということも地域協議会として提案してもよいのではないかと思う。今後の方針として持っていきたいと思う。

【高橋委員】

東京から友人が遊びに来て、上越妙高駅で降りた後、食事しようと思ったが、中途半端な時間に着くと食事ができない。お昼前後の営業時間は2時か2時半ぐらいまでで、その後、夕方の5時から6時ぐらいまで休業するようである。最近行っていなかったのかわからなかったが、不便だねという話が出て驚いた。駅周辺を活気づける意味では、そのような店舗の活性化も必要ではないか。我々が営業している方をお願いするのもおかしな話だが、外から来る人の利便性を考えるべきではないか。

【有坂会長】

飲食店は、昼が忙しくて、3時前後にある程度暇になると思う。そうすると、休憩時間として休む店が昔からあったのでその流れだと思う。ずっと営業してもらえば一番よいが、お店の人も休憩しなくてはいけないし、そのために人を増やすのは難しいのかもしれない。

【高橋委員】

その後、友人と一緒に小布施まで遊びに行った。小布施は概ね10時から始まっ

て夕方6時まで営業している。特に新幹線の駅の周辺であれば、本来もっと発展していてもよいと思う。小布施辺りは観光である程度成り立っている町だと思うが、周辺の菓子店や酒屋が昼を通じて夕方まで営業しているのを見ると、この辺は客がないから閉めるのは仕方ないが、やはり寂しい気持ちがある。

【篠原委員】

地域の意見を聞くということはすぐにやっていただきたい。協議会での発言は、自分限りの意見でしかないと感じていた。釜蓋遺跡だが、もう遺跡だけで人を集めるのは限界があると思う。横田委員もおっしゃったように、遺跡とは直接関係のない活用、例えば人がちょっと集まれるようなスペースを作るのもよいのではないか。前々から言っているカフェなら、私たちもちょっと行ってみようかなと思う。今、和田郵便局で作品展をやっているが、すごく上手にやっていると思う。趣味でかなり高度な作品を作っている人もいるので、貸しスペースのようなものを設けることもよいのではないか。私も一つぐらいは出してみたい。ただし、その管理が大変ではある。

【有坂会長】

そのような画廊の貸し出しのようなものは、恐らく地域協議会でやるわけにはいかないと思う。どなたかにお願いして作ってもらうというような提案はできると思うが、我々が運営することはできない。

釜蓋遺跡という方針で進めていこうと思ったところが、前回の地域協議会で急にはしごを外されたようになってしまい、皆さんも面食らっているとは思う。今後、我々は自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備活性化」に沿って協議を進めていくべきなのか、それとも方針転換をして、皆さんからいただいた意見の中からピックアップするなり、出た意見をすべて最終的に地域協議会の意見としてまとめ上げていくなど、次回の地域協議会までに事務局と協議して方針を出したい。

他に意見を求める。

【草間委員】

今回、資料の中に三郷区とか、谷浜・桑取区の方角性がきているが、当協議会においてのこの辺のところのまとめは、どこまで進んだのか。

【有坂会長】

方向性は決定している。

【草間委員】

そこに沿って進んでよいのではないかと思う。

【宮崎副会長】

先日、新聞に日帰り温泉鶉の浜人魚館の地域サポーターの立ち上げという記事が掲載されていた。人魚館の活性化に向け、今年の6月に協議会委員の有志や地元住民で構成されるものである。その半年ぐらい前に、大潟区地域協議会が自主的審議事項「大潟スポーツプラザ鶉の浜人魚館の利活用の促進について」について、人魚館のサポータークラブの設立を含む、人魚館の利活用に係る意見書を提出している。地域協議会は、他の人にやってくれということではなくて、自ら動いて自分たちも何かをするから市も手伝ってという姿勢であるべきではないか。色々と大変かもしれないが、人にやってもらうということではなくて、自分たちで進んでやらなくてはいけないと思った。

【有坂会長】

次回の協議会までに皆さんからいただいた意見をまとめて、それをたたき台として方針を決めていきたいと考えている。今後どのような方向に持っていくか、皆さんからも意見をいただきたい。

他に意見を求めるがなし。

以上で次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【有坂会長】

次第4 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和5年度 第3回地域協議会：7月19日（水）18：30から

第4回地域協議会：8月23日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

- ・その他配布物

- ・三郷区、谷浜・桑取区、大潟区地域協議会の「地域活性化の方向性」

- ・地域独自の予算事業チラシ

- ・上越市男女共同参画推進センター講座チラシ

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。